記者発表資料

令和元年 11 月 29 日
東北地方整備局
鳴子ダム管理所

鳴子ダムで日本酒貯蔵の可能性を探る！
～県内で初めての取り組み～

鳴子ダム管理所と大崎市では協力し、近年高まっているダム人気を背景に、ダムを観光資源として活用する地域活性化に取り組んでいます。

この一環として、大崎市内の酒造会社とダムの内部や旧道の排水トンネルを利用し、日本酒の長期熟成保存が可能かを調査いたします。

1．調査の目的　年間を通じて温度変化が小さいダム関連施設において、日本酒の貯蔵場所としての可能性を調査します。

2．調査場所　鳴子ダム内トンネル、本山トンネル（旧国道 108 号）

3．調査日時　令和元年 12 月５日（木）　１０：００～

4．調査参加者　大崎市内の酒造会社、大崎市、鳴子ダム管理所

※鳴子ダムの様子は、鳴子ダムホームページ「鳴子ダムライブ映像」でもリアルタイムで見ることが出来ますので、是非ご覧ください。
《 鳴子ダムホームページ http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/ 》

【発表記者会】　古川記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　鳴子ダム管理所
所長　佐藤　徳男
〒９８９－６８０６　宮城県大崎市鳴子温泉字岩渕２－８
TEL 0229-82-2341　FAX 0229-83-3855

貯 蔵 候 補 地

本山隧道内排水トンネル(旧108号）

幅 :3m 程度
高さ :3m 程度
延長 :100m程度
温度: 年間を通して
13℃程度



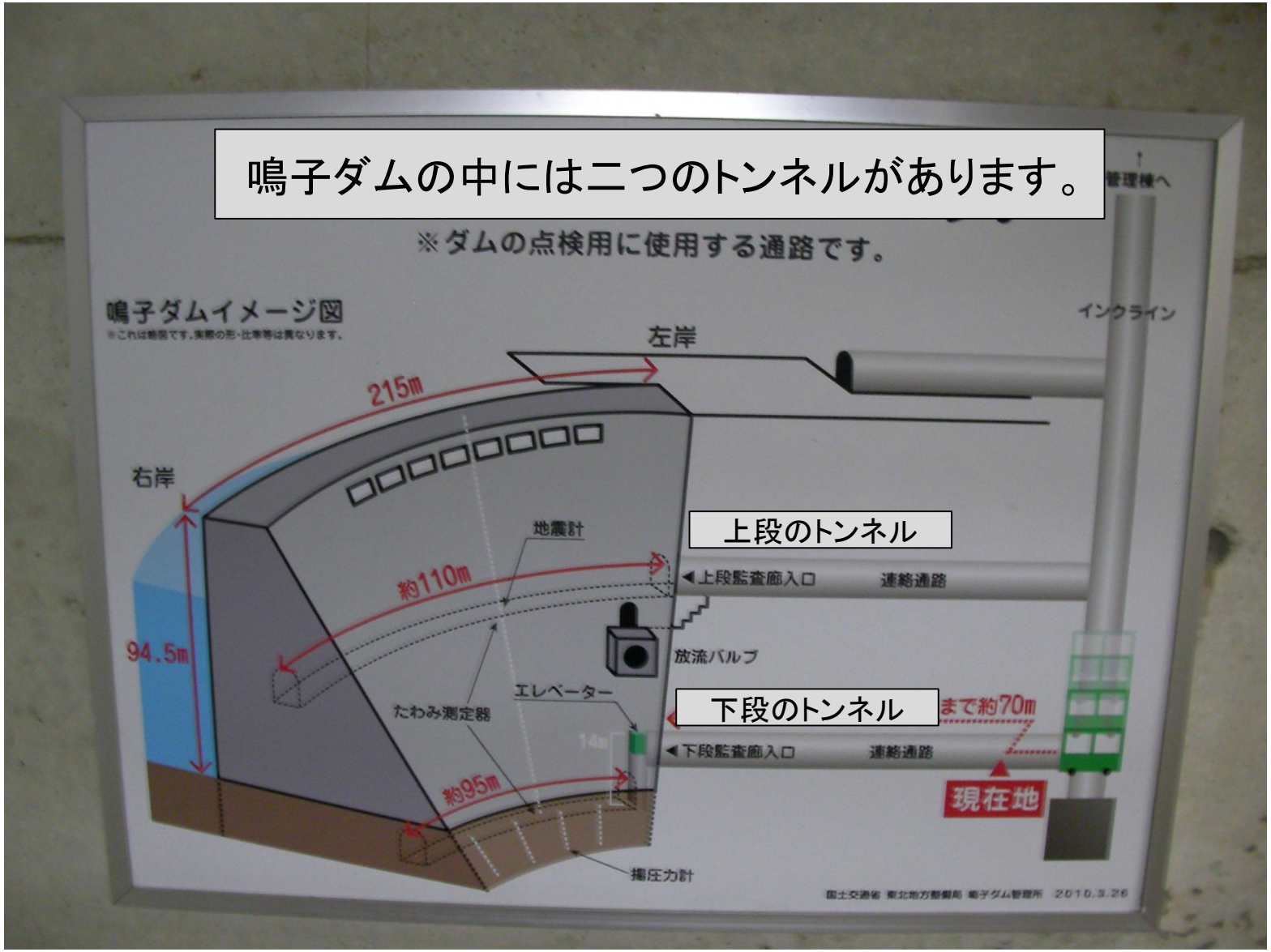








鳴子ダムの中には二つのトンネルがあります。



上段トンネル

幅 :1.1m 程度
高さ: 1.9m 程度
曲線:R=70m程度
温度 :年間を通して
11℃　程度









下段トンネル

幅 : 2m 程度
高さ: 3m 程度
曲線 : R=70m 程度
温度 : 年間を通して
13℃ 程度







